

# 津波救命艇を設置しました

平成 31 年 3 月 1 日に改良住宅跡地に津波救命艇を設置しました。



## 津波救命艇って？

アルミ合金製の定員 25 名の津波避難用シェルターで、浸水すると船のように浮かぶもので、津波の高さに関わらず避難することができる大きな利点です。津波のおそれがある場合は、高台へ逃げるのが鉄則ですが、この救命艇は、どうしても高台への避難が困難な場合の避難施設となります。装備として救難信号やトイレ、1 週間分の食糧や飲料水などを備えています。

## 津波救命艇の装備について



### 地震時自動開錠ボックス

救命艇は平時は施錠しているため、救命艇入口階段付近に設置しています。

震度 5 弱以上の地震で自動開錠する鍵ボックスで、中には救命艇入口の鍵が入っています。



## マリントイレ

海水を汲み上げて水洗するトイレです。

陸上では使用することができませんが、凝固剤が不要なため、洋上では通常のトイレと同じように使用できます。



## 安全設備

定員の 25 名分の座席とシートベルト、ライフジャケット、防災ずきんを装備しています。

その他生存指導書や、応急救急セットを備蓄しています。



## 備蓄食料・飲料水

定員の 25 名の 1 週間分の食料と水を備蓄しています。

津波災害後、洋上に流された場合でも、1 週間分の食料で救助を待つことができます。



## 通信設備

衛星非常用位置表示無線標識装置 通称EPIRB (イーパブ)

洋上に流された場合、スイッチを入れると、海上保安庁に救難信号を発信することができます。  
詳しい使い方は船内に掲示しています。



## アンカー (いかり)

洋上に流された場合、安定したところで、それ以上遠くに流されないよう、海に投げ込んで使用します。結びつけるためのロープも備蓄しています。



## 折りたたみバケツ

このように、生存に必要な備蓄を備えた津波対策の避難施設となります。  
高台への避難がどうしても間に合わない場合に正しく使用してください。